



ふじ美が原

富士見中学校

特集：3学期始業式

各学年代表生徒の力強い決意の下

しめくくりの3学期始まる！

あけましておめでとうございます。新たな年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。

富士見中学校の3学期が力強い決意の下、スタートしました。

「2学期の反省と3学期に向けて」

一学年代表 岡田 歩奈美

私は一年生になって、「自分を変えたい」と思っていました。なぜかという、マイペースで人に流されている自分がきらいだったからです。だからこの、小学校から中学校に変わるという大きな節目のときに変わろうと決意しました。

一つ目は、部活です。私は運動が苦手で体力がない自分を「変えよう」と思って「女子バスケットボール部」に入りました。これは私にとったら大きな挑戦の一つです。

もう少し自分の意志で動かさかったです。というの、練習



のときに相手から誘われるのを待ってから動いていたからです。なので、3学期は「自分の意志で動く」を目標にがんばりたいです。

二つ目は、合唱です。私は今まで目立つのがいやで周りにあわせて歌っていました。でも、私は変わるんです。だから、自分らしく歌おうと努力しました。すると合唱祭が終わって一日か二日たったときに、佐伯先生に「おまえの言葉は私にとつてとてもうれしいほめ言葉でした。」

このことから、私は一年生になって「部活」と「合唱」で少し変わることができました。でもまだ、「勉強」や「委員会」では変わっていないので、「勉強」は効率よく、マイペースにならないようにし、「委員会」は自分の思ったことをしっかり発言できるようにがんばります。

「二年生としての3学期」

一学年代表 小林 建輝

僕が、3学期頑張りたいことは二つあります。

一つ目は、生徒会への参加です。僕たち二年生は、3学期から生徒会を引き継ぐこととなります。新しい生徒会

役員も決まりました。「生徒会を二年生全体で引き継ぐ」という学年集会での、宮崎先生の話を聞いて、僕は役員ではありませんが、僕にもできることがたくさんあるのではと思っていました。その一つは、1学期、2学期になかなか参加できていなかった、エコキヤップやベルマーク収集などへの参加です。家で意識して集めることで少しでも持つてくるようにしたいし、強化旬間では、委員と一緒に呼びかけをして、みんなが企画に参加できるようにしたいと考えています。また、普段の日常の中で、「あいさつ」、「合唱」なども生徒会活動です。これら一つひとつも大切にしていきたいと考えています。三年生になるのだから、できることを自分から探して、やっていきたいです。

二つ目は、感謝することです。一つは、一年間お世話になった校舎に感謝の気持ちを込めて、掃除をするということです。2学期では、2学期に清掃に関する学年集会を行いました。そこで、三年生の清美委員長からお話を聞き、形だけの清掃ではなく、想いを持って清掃することの大切さを学びました。自分もどこか清掃が作業になっていたような気がします。毎日の授業、休み時間など、一年間この校舎でいろいろなことがありました。校舎に恩返しという意味でも、細かいところまで、



丁寧心を込めて清掃していききたいと思います。

もう一つは、今まで学校を引張

ってくれていた三年生に感謝するという事です。三年生は、白鈴祭や合唱祭など大きな行事では、先頭になって進めてくれました。僕はこの行事をクラスや学年、また、縦割りのクラスなど、みんなと一緒にとても楽しむことができましたし、充実させることができました。この白鈴祭や合唱祭の成功は、三年生のおかげです。本当にありがとうございました。

そんな三年生の姿を見て、学べるのも残りわずかです。また、僕たちが感謝の恩返しとして、三年生から学び、身につけた姿を見せる時間も残りわずかです。二学期は生徒会へ参加する姿や感謝の思いが三年生に少しでも伝わるように、この三学期取り組んでいきます。そして、授業や宿題、係活動など、基本的なことはサボらず、確実にやることをもう一度見直して、三年生になるための準備を進める学期にしていきます。

「三学期の決意」

三学年代表 植松 小鈴

私は、中学校生活最後の三学期を迎えるにあたって、大切にしたいことが三つあります。

一つ目は「学ぶ」ことです。私たちは今、受験(受験)勉強を頑張っている時期です。もちろん教科の学習一時間一時間を大切にしたいと思います。しかし、私にとって「学ぶ」ということは、ただ単に学力をつけることだけでなく、挨拶や清掃など、心を働かせて行動することです。なので勉強だけでなく、人として学ぶことを大切にしていきたいです。

例えば、言葉を交わすこと、私が関わる全ての人の姿、多くの先生や同学年の仲間、そして後輩の皆さんから学んでいきたいと考えています。

二つ目は、「クラス」です。私たちのクラスでは、それぞれが書いた生活記録を皆の手紙として、担任の先生が学級通信に掲載して下さいます。その学級通信では、「自分の書いたことにクラスの友達が反応し、それに就いてまた書いてくれることが嬉しい」や、「学級通信を見ると、皆の気持ち

が分かって安心する」など、学級通信上での会話ができ、私も温かい気持ちになりました。これは私のクラスが課題とする「反応」の一つだと思えます。面と向かって言うことができなくても、学級通信を読んで感じたことを生活記録に書くことは素敵なことだと思います。三学期は生活記録での反応に加えて、直接的な反応を大切にしていきたいです。感じたこと、思ったことを声に出して、安心感のある場にして、さらに温かいクラスにしたいと思えます。

三つ目は「三学年」です。三学年は優しさの中に強い芯を持っていると思います。私は思います。私たち三学年はいつも一緒に大きな行事を創りあげてきました。白鈴祭では、役員の皆さんとその他の皆で協力しました。合唱祭では学年合唱を創りあげるために毎日お互いに声を響かせ合って、心を一つに歌いました。二年九ヶ月この学年で生活してきて、私自身何度もこの学年の皆に励まされ、助けられてきました。

これから受験(受験)に向い、友と一緒に勉強し、友の合格を自分の



ことのように喜び合える。そんな優しさあふれる学年でありたいと思っています。

以上三つのことを大切にして、先生方、同学年、先輩の皆さんとたくさん話し、絆を深め、義務教育最後の学期を充実したものにしていきたいです。今、この一瞬という二度と戻らない日々を大切にできたら、三学期は素晴らしいものになるはずですよ。

今まであたり前のように過ごしてきた仲間とそれぞれの未来を見つめ、明るい旅立ちの時を迎える日までの四十六日間の中学校生活を、悔いの残らないよう、懸命に楽しく過ごしていきたいです。

◆◆◆◆◆
雪が少なく、例年よりも過ごしやすい冬を迎えています。寒さは日毎に増しているような気がします。しかし、そのような中でも、富士見中生は、取り組むべきことにしっかりと取り組みながら、この三学期を歩き始めました。三年生は、進路決定、卒業へ。二年生は、生徒会引き継ぎ、最高学年へ。一年生は、児童体験入学、学級のまとめ、先輩になる準備。

この三学期が、大きな成果を得られるまとめとなり、力強く次へと進んでいく充実の学期になると確信させられる生徒の姿です。
本年もよろしくお願いたします。